

# 新設グループ紹介

## 人形劇「ゆめのつづき」

代表 高木 博史 (園芸 23 期)

### 1.目的

人形劇を通じて「再び学んで他のために」を实践し、お年寄り、子ども達に楽しんでもらい、また、自らも楽しむことを目的として活動します。



### 2.現状

KSC 人形劇「ゆめ」で活動していた人形劇大好きな 23 期～24 期のメンバーを中心として 2020 年 4 月に設立しました。しかし新型コロナウイルスによる緊急事態宣言のため活動は 10 月にしあわせの村でのビバ！ハロウィンでの 1 回だけにとどまりました。

### 3.今後の予定

コロナの状況を睨みながらにはなりませんが 4 月から月 1 回のペースで高齢者施設を訪問する計画です。演目は民話で有名な「三枚のお札」です。

この公演に向けて練習を開始します。また、子ども達向けの演目としては「三匹のこぶた」や、こぶたを用いた新作も用意しているのでコロナが落ち着き、夏休み期間に児童館等の訪問ができることを願っています。

### 4.メンバー大募集

人形や舞台道具などは全て手作りしています。人形劇に興味のある方、初心者でも大丈夫。黒子になれば案外大胆に演技することができます。ぜひ、ご連絡下さい。(年会費 1,000 円)

【連絡先】代表：高木 博史 (園芸 23 期)

☎: 080-2517-2856

e-mail : takagi.hiroshi@cream.plala.or.jp

## おとなの折り紙オリガミアン

代表 熊谷 信哉 (生環 24 期)

### 1.主旨

人生 100 歳時代。家の中に籠ってはいはボケるだけ。そこで外の世界へ飛び出し新しい人間関係の中で頭と指を使う折り紙を練習しようと思い立ち、クラブを立ち上げました。折り紙は社会的な娯楽と思っています。一人を楽しむよりも、覚えた作品を周りの人に受け取ってもらおうと相手は「ほっこり」した気分になります。クラブの正式名称「おとなの折り紙オリガミアン おしゃれを折り伝える」にはそういう思いを込めています。



### 2.活動概要

コロナ禍の影響で発会式・初練習は昨年 7 月 7 日まで棚上げされました。定期練習会場はシルバーカレッジからさほど遠くない「ひよどり台交流プラザ」。幼稚園の跡で昭和レトロの雰囲気がいっぱいです。会員はシルバーカレッジの卒業生と一般の方がほぼ半々で、現在の会員は 14 人。月 2 回、第 1、第 3 火曜日の午前中、活動しています。練習テーマは創作折り紙に絞っています。教室での練習日当日はマン・ツー・マンで教え、高齢者が対象ということ十二分に意識して復習に力を入れています。

これまで取り上げたものはパンダ、カニ、ワンピース、クリスマス用の縦の木、サンタ、トナカイ、金色の鶏、孔雀、鬼の顔、きつね、狸など多岐にわたっています。

コロナ禍で休会となることが多いことを見越し「ステイホーム」に対応した会報「オリガミアンだより」の発行も重点項目の一つとして取り組んできました。昨年 4 月から 1 年間で 38 号 (A4 判) のべ 71 ページを発行。作品の折り図紹介のほか、折り紙周辺の話も取り上げています。

### 3.今後の計画

七夕とクリスマスには会員が折り貯めた作品を会場の隣のひよどり台小学校児童にプレゼントしましたが、新年度からは、これをクラブの正式なボランティア行事と位置づける予定です。

高齢者に教えやすく、かつ彼らが家族やお孫さんたちに披露してええ格好出来るテーマが望ましいと考えています。今後も話題性があり、タイムリーな作品を見つけて楽しく仲良くやっていきます。ただ生まれたばかりのヨチヨチ歩きのクラブですので、あまり拡大路線は取らず、基礎的な実力をつけるよう着実に歩んで行くつもりです。

【連絡先】代表：熊谷信哉 (生環 24 期)

e-mail : gonjuu.777@kuma.zaqq.jp